

老夫婦には何もわからなかった

その間 僅か二三十分の

時が流れた

老夫婦のやさしい労りのうちに

彼の生命が

静かに消えて行つた――

老夫婦は彼のむくろに縫つて

声を上げて泣いた

余りにも痛ましい死……

余りにも哀れな臨終………だった

農家のまわりの草むらからは

名もない秋の虫が

彼の死を悼むように

悲しく切なく啼いていた――

やがて

老夫婦は